

【生徒の実態】

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|--------------|--|--|---|
| 学力分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の定着の弱さが見受けられる。 ・基礎的学習に取り組み、概ね基本技能は身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の定着の弱さが見受けられる。 ・アイデアをアウトプットする際、既習の知識を活用することが苦手な生徒の割合が高い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアをアウトプットする際、既習の知識を活用することが苦手な生徒の割合が高い。 |
| 学習状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの生徒が意欲的に学習に取り組んでいるが、集中が続かない生徒も見られる。 ・クラス全体への質問や問いかけに対して積極的な生徒が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指示をよく聞いて取り組める生徒が多い。 ・クラス全体への質問や問いかけに対して積極的な生徒が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指示をよく聞いて取り組める生徒が多い。 ・課題に対して計画的に進めていくことが苦手な生徒が多い。 |
| 生徒アンケートの結果より | <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」の確認と、授業内容の振り返りを行う時間が不十分であるという回答がやや多かった。 ・制作時間の設定や、個別の対応に関して肯定的な回答が多かった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」の確認と、授業内容の振り返りを行う時間が不十分であるという回答がやや多かった。 ・制作時間の設定や、個別の対応に関して肯定的な回答が多かった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」の確認と、授業内容の振り返りを行う時間が不十分であるという回答がやや多かった。 ・学習内容の復習に対する意欲をもつ生徒が少ない。 |

【授業改善の手だて】

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|------|--|--|---|
| 改善計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやICTで提示する視覚情報を分かりやすく工夫する。 ・「めあて」の確認と、授業内容の振り返りを行う時間を十分に確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやICTで提示する視覚情報を分かりやすく工夫する。 ・「めあて」の確認と、授業内容の振り返りを行う時間を十分に確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」の確認と、授業内容の振り返りを行う時間を十分に確保する。 ・題材の設定や提示する教材を工夫し、生徒が学習内容を実生活に結び付けられるようにする。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の定着度合を定期考査や授業ワークシートの内容から確認する。 ・「めあて」の理解と振り返りが適切に行えているかを、ワークシートで確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の定着度合を定期考査や授業ワークシートの内容から確認する。 ・「めあて」の理解と振り返りが適切に行えているかを、ワークシートで確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」の理解と振り返りが適切に行えているかを、ワークシートで確認する。 ・題材で扱った内容について生徒が思考を深められたか、ワークシートやレポートで確認する。 |